

審議会等会議録

審議会等の名称	第7回山口市新本庁舎整備専門会議
開催日時	令和2年11月18日(水曜日)10:00~11:15
開催場所	山口市役所第2委員会室
公開・部分公開の区分	公開
出席者	山口大学大学院創成科学研究科 教授 鷗心治 一般社団法人 山口県建築士会 会長 松田悦治 一般社団法人山口県建築士会 神徳香子 山口大学大学院創成科学研究科 准教授 鈴木春菜 山口商工会議所 専務理事 大田正之 (5名・敬称略)
欠席者	山口県立大学社会福祉学部 教授 前田哲男 山口大学大学院創生科学研究科 准教授 瀧本浩一 (2名・敬称略)
事務局	総務部:田中本庁舎整備推進担当部長 本庁舎整備推進室:嶋壽室長 渡邊副参事 山本主幹 吉田主任主事
次第	1 委員長あいさつ 2 協議事項 (1)山口市新本庁舎等基本設計について 3 その他
内容	次第に基づき以下のとおり進められた。 【田中部長】 本日は、大変お忙しい中、御出席いただき、ありがとうございます。ただ今から、「第7回山口市新本庁舎整備専門会議」を開催します。なお、本日は、前田副委員長、瀧本委員は、所用により御欠席です。 まず、報告ですが、新本庁舎の基本設計については、12月に最終案を取りまとめ、翌1月中の決定を予定していました。しかし、電気機械設備等の計画検討に不測の日数を要し、概算事業費の算出作業に遅れを来していることに加え、敷地中央に配置することとしていました進入路とパークロードとの交差点の形状が未だ整っていないことから、最終案のとりまとめに今しばらく時間がかかる見込みです。場合によっては、基本設計の完了が次年度にずれ込むことも想定していますが、なるべく早期に基本設計を取りまとめられるよう、引き続き、取り組みたいと考えています。 それでは次第にしたがい、会議を進めたいと思います。始めに鷗委員長より御挨拶をお願いします。 1 委員長あいさつ 【鷗委員長】 今回が第7回目の専門会議です。本日もよろしく申し上げます。ただ今、田中部長からの基本設計の業務期間が少し延びるかもしれないとの報告がありま

した。非常に重要なテーマである概算事業費と交差点について調整していただいているところなので、今しばらく待って、本専門会議でも取り上げて議論したいと考えています。

それでは、本日は、ユニバーサルデザイン計画、サイン計画、防災関係のBCP計画、環境配慮計画の4点について、議論してまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

【田中部長】 ありがとうございます。これからの進行につきましては、鶴委員長にお願いしたいと思います。

2 協議事項

(1) 山口市新本庁舎等基本設計について

【鶴委員長】 それでは、次第 2 の協議事項について、事務局から各資料の説明を一括してお願いします。

【嶋壽室長】 《「ユニバーサルデザインの考え方」、「サイン計画の考え方」、「BCP計画」、「環境配慮計画」に沿って説明》

〔説明の一部抜粋〕

○ユニバーサルデザインの考え方

バリアフリー法や山口県福祉のまちづくり条例の基準を満たす計画とし、実施設計に当たっては、障がい者団体等の皆様に整備イメージや、製品の実物をお示しながら、利用者目線に立って検討を進めたいと考えています。

動線については、自動車で来庁される場合、パークロードから構内道路を経て、庁舎東側の立体駐車場へのアクセスを想定しており、庁舎正面にタクシーや送迎用の車が利用できる車寄せのスペースを設けることを検討しています。

東側のパークロードから来られる歩行者は、芝生広場、イベント広場を経て、庁舎へのアクセスになりますが、パークロードと広場の間には高低差があるため、緩やかなスロープ等を設置して、誰もが容易にアクセスできるように計画します。また、広場から庁舎まで庇を設け、雨に濡れずに移動できるようにしたいと考えています。

駐車場については、安全に利用できる立体駐車場を計画しており、雨天時でも雨に濡れずに庁舎へアクセスできるよう庇を設ける計画とします。また、メインエントランス近くへのアクセスしやすい位置に屋根付きの思いやり駐車場を配置します。

窓口については、庁舎2階東側の中央メインエントランスから視認しやすい位置に総合案内を設けるとともに、来庁者が多い課を低層階に集約配置するなど、来庁者の移動を最小に抑えたいと考えています。窓口は原則としてローカウンターとし、プライバシーが必要な窓口に関しては、カウンターに仕切りを設けるとともに、適宜

個別の相談室を設けます。

トイレについては、多目的トイレやLGBTの方も利用できる個室のトイレを含め、各階の同じ位置に配置することを基本とします。

また、授乳室・キッズコーナーは、子連れの来庁者が想定される2階、3階の子ども・子育て支援に関連する課の窓口の近くに設けることとしています。

昇降機は、バリアフリー対応の広さ、仕様とし、点字プレートや音声案内を導入します。北側のエレベーターは、ストレッチャーの搬入もできるサイズとしています。

○サイン計画の考え方

ユニバーサルデザインと同様に、バリアフリー法等の基準を満たし、点字や外国語を併記したサイン計画としたいと考えています。県のカラーバリアフリーガイドに沿った効果的な色彩計画を心がけ、子どもや日本語に不慣れな方にも直感的に理解できるような数字、アルファベット、ピクトグラムなどを効果的に使用します。

建物内のサインは、見つけやすく、読みやすいサインとします。カウンター上部のサインについては、行政用語ではなく、来庁者の目的をそのまま記した用件別表記とし、課名表示などは容易に更新できる仕様とするなど、メンテナンス性に配慮したサインを検討します。

建物外のサインについても、庁舎、立体駐車場だけでなく、広場も含めた一体的なサイン計画とし、敷地全体での統一感を創出します。各建物配置と現在地の位置情報を示す総合案内サインを、見やすく、わかりやすい場所に効果的に配置します。

○BCP計画

市民、職員の安全を守るため、建物の耐震性能を高め、災害発生時にも機能できるような構造、設備、施設計画とします。

構造については、本庁舎棟は免震構造、市民交流棟は3階建てということもあり耐震構造とします。災害対策本部機能は、災害発生時に速やかに設置し、関係機関と連携した円滑な災害対策活動や、情報の収集、共有及び発信ができるよう必要な設備、機器類を配置した災害対策室を常設します。

災害時の機能維持については、非常用発電機等を設置するほか、電力の二系統受電や災害に強いとされる中圧ガスの引込みを検討し、災害時に必要となる機能を自力で72時間維持できる計画とします。

また、4日分の飲料水及び雑用水を確保できるよう上水受水槽や雑用水槽等の設置、飲料水ペットボトルの備蓄を想定しています。また、非常用排水槽を設置し、雑排水やトイレ等の排水に7日間対応します。

市民交流スペースは、受援対応、罹災証明の発行や災害見舞金の支給受付などの被災者支援に関する業務を行うスペースとするとともに、帰宅困難者を一時的に受け入れるスペースとして開放します。また、イベント広場も一時避難

場所、受援対応スペースなどとして利用可能とします。

○環境配慮計画

省エネルギー、省資源に配慮した設備・機器の導入、エコマテリアルの採用等を検討し、先導的な省エネルギー庁舎の実現を図ります。費用対効果のバランスを考慮し、ライフサイクルコストの縮減を図るとともに、ランニングコストを抑制するためにパッシブデザインを優先し、補助金制度の活用も積極的に検討します。

【鶴委員長】 それでは協議に入りたいと思いますが、大きく4つテーマがありましたので、それぞれに区切って皆さんからの御意見と御質問を伺いたいと思います。それでは、「ユニバーサルデザインの考え方」に関して、御意見、御質問はございますか。

【A委員】 今回のユニバーサルデザインの考え方の窓口の項目では「総合案内」とありますが、前回の平面計画の図では、「総合受付」とあるので、意図が無いのであれば、言葉を統一された方が分かりやすいのではないかと思います。また、平面計画の「総合受付」をもっと目立つように書かれた方が良いと思います。

それと、動線について、パークロードと広場の間に現状くらいの高低差があるとなれば、かなり長いスロープが想定されます。現状の急勾配なスロープが緩やかになるような、そういったことにも少し言及されたらどうかと思いました。

【嶋壽室長】 総合案内と総合受付の相違については、意図して表記しているものではないので、不統一なところについては、統一したいと思います。

スロープに関しては、まだ具体的な図ができていないこともありますが、この点を文章で書くのか、それとも図面で示していくのか、そういったことも含めて、今後、検討させていただけたらと思います。

【A委員】 高低差が大きいことについてですが、昇降機の項目にエレベーターと書いてあります。これをエスカレーターにするということも検討されているのでしょうか。

【嶋壽室長】 計画の考え方としては、昇降機と書いていますが、もちろん、エスカレーターも含めての話になると思います。コスト面や安全性等も含めて、いろいろと検討できればと思います。

【B委員】 車や歩行者の動線については説明いただきましたが、駐輪場からの動線がよく分からないように思います。山口県は自転車にも力を入れていますので、駐輪場からの動線も雨に濡れないとか、車道に一度も出なくても庁舎にアクセスできるとか、そういった記載があると良いと思います。

【嶋壽室長】 御指摘のとおり、駐輪場からの動線については記載できていません。駐輪場の位置が確定していないこともありますが、人に優しい本庁舎へのアプローチの考え方として追加して記載したいと思います。

【C委員】 駐車場のボリュームについてですが、現本庁舎とほぼ同じくらいの高さのものが建つこととなるかと思っています。また、冒頭でもお話のあったパークロードからの車の動線について、庁舎だけでなく、まちづくりの観点から見ても非常に重要な

点になるかと思えます。駐車場とこの動線については、非常に重要な課題だと思えますので、市民理解を得られるように柔軟に検討を進めてほしいと思えます。

【鵜委員長】駐車場のボリュームや敷地内道路の線形については、これまでも課題があると感じていますが、そうした中で法的事項や関係機関との調整等で、未だ結論が出ていないものと思えます。

例えば、駐車場の北側に敷地内道路を通すことにした場合、駐車場は南側に出てきて、庁舎の半分以上が駐車場の陰になるかと思えます。また、南側に敷地内道路を通す場合でも、車と人の動線が錯綜するといった課題が出てくるかと思えます。

【嶋壽室長】駐車場のボリュームに関しては、配置計画やボリューム模型を見ながら、一部地下化する等の検討をしていますが、それでもボリュームが大きいというのが現状です。

そうした中で、中央駐車場の350台分は都市計画決定に基づいた台数であり、また来庁者用駐車場については、現状の86台では不足していることに加え、新たに市民交流棟や会議室等の整備による需要増を見込んで、200台分に増加しています。これらを合わせて550台の大きなボリュームの立体駐車場となっています。

今後、担当部局や関係機関等と協議を進めていく中で、駐車場のボリュームの軽減についても、その可能性を検討したいと考えています。

【鵜委員長】専門会議でもいずれ議論すべきものと認識していますので、一定の整理したものが、事務局から提示されましたら、この場でも協議したいと思えます。

【D委員】基本設計の策定までに、障がい者等の各団体に対して、今回のユニバーサルデザインの考え方についての意見交換や周知をしていくことが大切だと思いますが、そういった場は設けられるのでしょうか

また、窓口に関してですが、基本的に低層階に市民課、福祉関係、税といった頻繁に使われる窓口が設置されると思いますが、その他の農業委員会や教育委員会、あるいは都市計画課等の様々な申請についてはどのようにお考えでしょうか。それぞれの課に窓口があるのか、それとも2階の窓口で職員が来て申請の受理等をされるのかお尋ねしたいと思えます。

最後に喫煙所はどうお考えなのかお尋ねします。以上3点です。

【嶋壽室長】まず、各団体との意見交換等を基本設計の段階でも実施すべきとの御意見についてですが、実施設計の段階で、ワークショップのような形で聞き取り等を行えばと考えています。これは、基本設計の段階ですと、どうしても概念的な話になってしまい、なかなか具体的な協議ができないということで、実施設計の段階で聞き取りを行うことを記載しています。障がい福祉の担当課等とも相談しながら今後進めていきたいと考えています。

二点目の窓口に関してですが、利用者の多い住民票や福祉関係、税といったものは低層階に配置することとしています。その他の農業委員会等への届出等の対応はそれぞれの課の窓口で行うことを想定していますが、まだ固まったわけではな

いので、各課にヒアリングを行ったうえで、今後こういった形が利用者にとってもっとも良いかを検討したいと考えています。

三点目の喫煙所につきましては、まだ具体的なところは決まっていません。受動喫煙の防止を考えると、敷地内完全禁煙、または、例えば屋上に喫煙スペースを設ける、といった選択肢があるかと思います。設けるかどうか、また、どこに設けるのか等も今後検討させていただければと思います。

【鶴委員長】ユニバーサルデザインにつきましては、以上でよろしいでしょうか。それでは、続いて「サイン計画の考え方」について、御意見、御質問はございますか。

【B委員】基本的に敷地内のサインについては統一感を出すとされていますが、敷地外のサインにも統一感等があるかと思っています。山口駅から市役所までのサインは、少ないうえに表記もバラバラで、安心感があまりないように感じるので、余裕があれば御検討いただきたいと思っています。

都市計画的にも広い範囲でサイン計画を行っているところもあり、庁舎のサイン計画もその延長線上にあるのかなと感じます。そういったサイン計画であれば、山口市としてのポリシーも感じられると思うのですが、いかがでしょうか。

【嶋壽室長】現状、敷地外までは検討できていません。市役所に来られるまでの道中等のサインに関しては、街づくりの担当課とも相談しながら、こういったものがよいか検討したいと思っています。また、最終的な報告の段階で、その点も盛り込めたらと考えています。

【C委員】パークロードの歩道が美術館の噴水までで途切れていることで、サインや景観等にも影響を与えているかと思っています。庁舎のサイン計画だけの話にはとどまりませんが、この度の新庁舎の整備を契機に、そうした形の計画ができればいいと思います。これは、あくまで希望ですので、答弁等は不要です。

【A委員】サインの外国語併記は、どこの言語で、何か国語を想定されていますか。

【嶋壽室長】実施設計の段階で具体的な検討を行えたらと考えていますが、あまり多言語で併記してしまうと、文字が小さくなるなど色々問題があるかと思っています。市内で生活されている外国人の方で、どちらから来られている方が多いのか等を担当課と相談しながら決めていきたいと考えています。

【鶴委員長】続いて、「BCP 計画」ですが、これについて、御意見、御質問はございますか。

【A委員】本庁舎は免震構造で、市民交流棟は耐震構造とのことで、「BCP計画」の図にエクспанションジョイントがここに入るというのが分かった良いのではないかと思います。この図だと、本庁舎と市民交流棟がくっついているように見えてしまいます。

【渡邊副参事】どちらの表記が分かりやすいか検証して、分かりやすいものを採用させていただきたいと思っています。

【B委員】敷地内の道路協議が進んでからの話になるかと思いますが、新庁舎は主要幹線であるパークロードとの接続がとても重要だと思います。支援車両の受け入れはイベント広場を活用するとありますが、支援車両がイベント広場まで入って行けるような線形や幅員になるように配慮して設計していただけたらと思います。

【嶋壽室長】東側からのアクセス以外にも、西側と南側からのアクセスも検討しています。南側の市道に関しては、既に拡幅の計画があり、現庁舎の正門の所まで広い道路になる予定です。東側からのアクセスに関しても、そういった大型車両の出入りを検討したいと考えています。

【鵜委員長】本庁舎の屋上には色々な設備が設置されるかと思いますが、例えばですが、市民交流棟の屋上に、非常用の電源や給水口を設ければ、災害対策本部からも近く、緊急時にも役立つのではないかと思います。災害時以外でも屋上のスペースとして色々と活用できるかと思いますが、この点について現状で何か議論等はされていますか。

【渡邊副参事】市民交流棟の屋上については、市民交流棟と直接の関係のある空調の室外機等の設置を想定していました。御意見については、しっかりと検証させていただきます。

【鵜委員長】続いて、「環境配慮計画」について、御意見、御質問等がございますか。

【A委員】「パッシブデザインを優先する」とされていますが、この建物は南北方向に長く、主に西日対策が重要になるかと思いますが、その点を含め、外観デザインの配慮をお願いしたいと思います。また、階段室がエコボイドになるということですが、これは常に階段室が開放されているイメージなのでしょうか。

【渡邊副参事】パッシブデザインについて、確かに建物条件として若干不利な点もあるかと思いますが、庇を張り出すように計画しており、庇を利用した反射によって室内に光を取り入れる工夫や、縦ルーバーと水平の庇により西日を防ぐといったことを検討できたらと考えています。

また、エコボイドについては、中央の階段室は、なるべく開放的な造りにして光を取り入れ、南北の階段室は煙突効果で空気を送り出し換気することが主な目的となるような形で検討を進めています。

【鵜委員長】西日対策のことですが、市民交流棟の庇は大きく張り出すような形状になっていますので、パッシブデザインとして考えると西側も庇が張り出していいのではないかと思います。ただし、エレベーション(外観)に影響を及ぼす可能性があるため、エレベーションも合わせて考慮した上での環境配慮が重要かと思いますが、その点も含めて御検討いただけたらと思います。

【B委員】先ほどのBCP計画のところ、図面上に電気自動車と充電スポットがありましたが、環境配慮計画にも記載するべきだと思います。また、来庁者用駐車場にも、可能ならば電気自動車の充電スポットがあった方がいいのではないかと思います。

【嶋壽室長】 電気自動車は、防災関係だけでなく、もちろん環境配慮としても寄与するものと思っています。現状の検討案としてBCP計画に記載しており、今後電気自動車を正式に採用することになりましたら、環境配慮計画にも記載できればと思います。また、電気自動車の充電設備については、来庁者用駐車場にも複数機を設置する方向で検討していきたいと考えています。

【嶋委員長】 以上4つのテーマについて、皆様から御意見等をお伺いしましたが、事務局で整理、検討していただいて、次回の資料に盛り込んでいただきたいとします。委員の皆様には、この4つのテーマについては、概ねこの内容で了承していただいたということよろしいでしょうか。

(委員了承)

【嶋委員長】 ありがとうございます。それでは、協議事項については、以上で終わりたいと思います。

3 その他

【嶋委員長】 それでは、次第3「その他」について、事務局から何かございますか。

【嶋壽室長】 まず、基本設計に関する今後のスケジュールについてですが、冒頭でも申し上げましたとおり、3月を目標に最終案を取りまとめられるように努力してまいりたいと考えています。最終案がある程度整った段階で、委員の皆様のお意見を伺いたいと考えており、時期は概ね2月上旬になるかと思っております。その間にも、必要に応じて皆様に御意見を伺うこともあろうかと思っておりますので、その際はよろしくお願いたします。

実施設計の段階になりましたら、先ほどのユニバーサルデザインの際にもありましたように、関係団体等からの意見聴取、あるいは実際の製品を見ての意見交換等のワークショップを開催できたらと考えています。また、今後、設計を進める中で別に必要なものが出てきましたら、検討してまいりたいと考えています。

【嶋委員長】 ただ今事務局から説明がありました。3月を目標に基本設計の最終案を取りまとめ、2月上旬に会議を予定していること、それまでに必要に応じて、皆様からの御意見を伺えれば、ということでした。日程調整等についてよろしくお願いたします。3月に基本設計の最終案を取りまとめるということで、4月以降は実施設計に入りますので、具体的な使用者の方との協議やワークショップ等につきましても、4月以降に必要に応じて開催されることになろうかと思っております。

駐車場やパークロードとの取り合いの道路については、ある程度整理され次第、この専門会議で協議して少しずつでも進めていかないと、3月に基本設計の最終案の取りまとめというのは、非常に難しいかと思っておりますので、会議招集の際はよろしくお願いたします。

それでは、本日の専門会議の議事は全て終了しましたので、進行を事務局にお返ししたいと思います。

	<p>【田中部長】 本日は、鷗委員長をはじめ、委員の皆様には、熱心な御議論、また貴重な御意見をいただき、お礼申し上げます。本日いただいた御意見をもとに、基本設計の考え方として作成した今回の4つの計画、また、今後の構造計画や内装計画等にも生かしてまいりたいと考えています。皆様には、引き続き御指導いただきますようよろしくお願い申し上げます。それでは、本日の専門会議は終了とさせていただきます。誠にありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>
<p>会議資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ ユニバーサルデザインの考え方 ・ サイン計画の考え方 ・ B C P 計画 ・ 環境配慮計画
<p>問い合わせ先</p>	<p>総務部 本庁舎整備推進室 TEL 083-934-4151</p>